

海部地区循環型社会形成推進地域計画

津島市
愛西市
弥富市
あま市
（七宝地区、美和地区）
大治町
蟹江町
飛島村
海部地区環境事務組合

平成 24 年 12 月

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標	3
3. 施策の内容	5
4. 計画のフォローアップと事後評価	13
添付資料	
様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	15
様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	17
様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	18
参考資料様式2 施設概要（熱回収施設系）	19
参考資料様式6 計画支援概要	20
別添1 <トレンドグラフ>	22
別添2 <地域内の現有施設の位置>	24
別添3 <現有施設の概要>	25

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 津島市、愛西市、弥富市、あま市（七宝地区、美和地区）、
大治町、蟹江町、飛島村

面積 198.36 km²

人口 296,477人（平成24年3月末日現在）

※あま市は、平成22年3月22日に旧七宝町、旧美和町及び旧甚目寺町の3町が合併して誕生した。

表1 地域内の面積及び人口の内訳

市町村名	面積 (km ²)	人口 (人) ※2
津島市	25.08	66,137
愛西市	66.63	66,146
弥富市	48.18	44,471
あま市 ※1	18.25	47,370
大治町	6.59	30,321
蟹江町	11.10	37,508
飛島村	22.53	4,524
合計	198.36	296,477

※1 あま市は、七宝地区及び美和地区を対象とする。

※2 平成24年3月末日現在

(2) 計画期間

本計画は平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢、廃棄物・リサイクルに関する法律・諸制度が大きく変化した場合などにおいては、必要に応じて計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

海部地区環境事務組合（以下、「組合」と略記する。）は、旧津島市ほか十一町村衛生組合（ごみ処理）と海部津島衛生組合（し尿処理）が、平成12年4月1日に統合し、広域行政の円滑化、効率化を図り、ごみ処理施設、し尿処理施設の設置及び運営を行っている。このような背景のもと、本組合では3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進を始めとした循環型社会の形成と効率的な一般廃棄物処理事業を推進している。

当組合の八穂クリーンセンター（ごみ処理施設）は、平成 14 年 6 月から本格稼働を行い、10 年を経過しているところであるが、各機器において経年劣化による機能低下が進んできているため、施設の機能回復が必要となっている。そこで、ごみ処理施設の機能回復整備だけにとどまらず、施設の長寿命化及び基幹的設備の改良をするなど大規模整備を行い、循環型社会形成を促進し、地域環境に負荷をあたえないように施設運営を行い、地球温暖化対策に資するものとする。

（４）広域化の検討

愛知県では、「第 2 次愛知県ごみ処理広域化計画」（平成 20～29 年度）を策定しており、県内を 13 ブロックに区割りしている。本地域は、県内ブロックのうち「海部津島ブロック」に該当し、既に広域処理を実施している。

今後も、この体制を維持し、計画的に施設の更新を行っていく。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

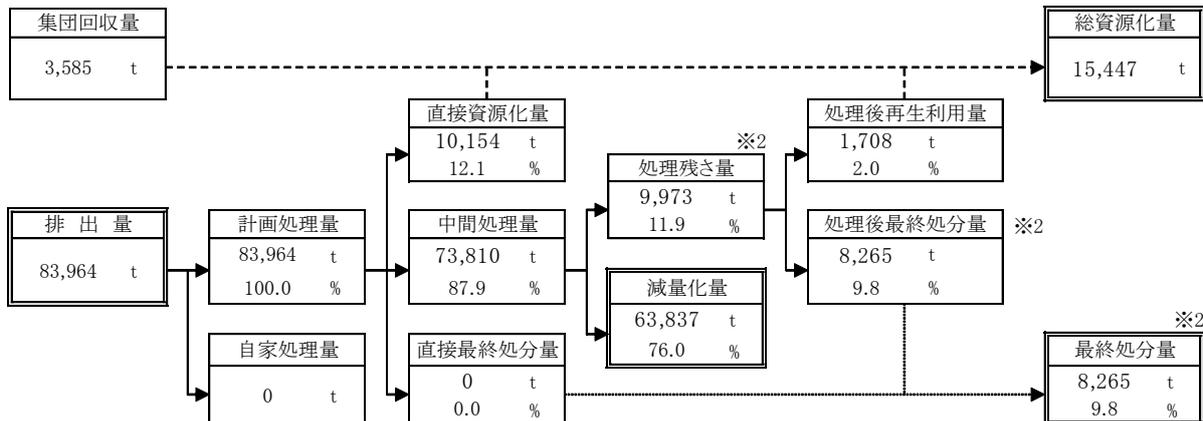
(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 23 年度の一般廃棄物の排出処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は、集団資源回収量も含め、87,549 トンであり、再利用される「総資源化量」は 15,447 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団資源回収量））は 17.6%である。

中間処理による減量化量は 63,837 トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね 8 割が減量化されており、集団回収量を除いた排出量の約 9.8%に当たる 8,265 トンを埋立処分している。

なお、中間処理量のうち 77,713 トン（し尿処理施設の脱水汚泥 3,899 トンを含む。）が焼却量である。焼却施設では焼却に伴い発生した熱を回収し、場内の冷暖房や給湯及び、余熱利用施設で利用するとともに発電を行い、施設内電力として利用し、余剰電力は売電している。



※1：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※2：焼却施設において、し尿処理施設からの脱水汚泥 3,899 t を焼却処理した残渣を含んでいる。

図 1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 23 年度）

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標値を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。参考として、別添1に現状と目標のトレンドグラフを添付する。

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状 (割合 ^{※1}) (平成 23 年度)	目標 (割合 ^{※1}) (平成 30 年度)
排 出 量	事業系 総排出量	14,307 トン	16,060 トン (12.3%)
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	6.82 トン/事業所	6.47 トン/事業所 (-5.1%)
	家庭系 総排出量	69,657 トン	64,372 トン (-7.6%)
	1人当たりの排出量 ^{※3}	200 kg/人	195 kg/人 (-2.5%)
合 計	事業系家庭系排出量合計	83,964 トン	80,432 トン (-4.2%)
再 生 利 用 量	直接資源化量	10,154 トン (12.1%)	7,853 トン (9.8%)
	総資源化量	15,447 トン (18.4%)	15,458 トン (19.2%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量)	25,587 MWh	24,538 MWh
減 量 化 量	中間処理による減量化量	63,837 トン (76.0%)	63,909 トン (79.5%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	8,265 トン (9.8%)	4,852 トン (6.0%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量)={(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)}÷(事業所数)

※3 (1人当たりの排出量)={(家庭系ごみの総排出量)-(家庭系ごみの資源ごみ量)}÷(人口)

《 指標の定義 》

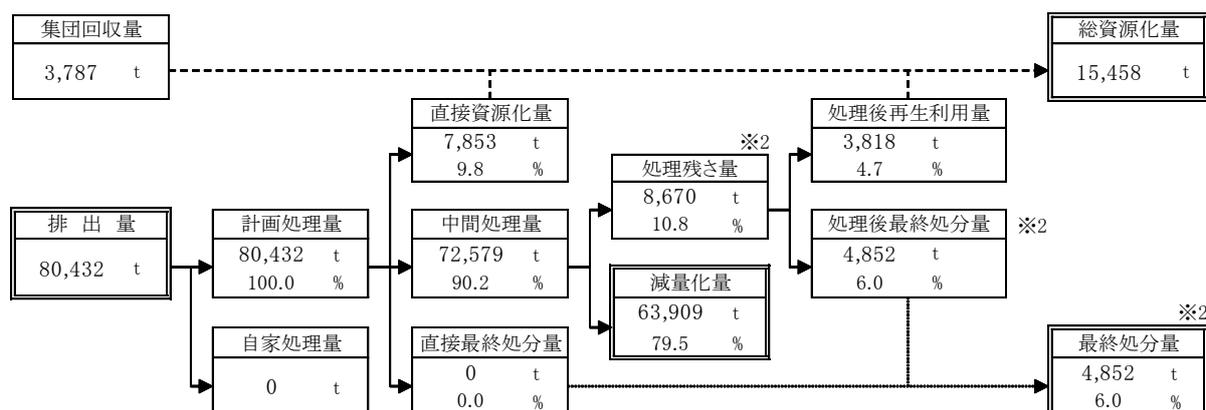
排 出 量: 事業系ごみ、家庭系ごみを問わず出されたごみの量(集団回収は除く) [単位: トン]

再 生 利 用 量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: トン]

熱 回 収 量: 熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh]

減 量 化 量: 中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位: トン]

最 終 処 分 量: 埋立処分された量 [単位: トン]



※1: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※2: 焼却施設において、し尿処理施設からの脱水汚泥4,000tを焼却処理した残渣を含んでいる。

図2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成30年度)

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

構成市町村が中心となり、組合と連携し以下の施策を推進する。

ア 有料化

現在、家庭系ごみについては、指定袋で収集し、処理しているが、処理料金は徴収していない。事業系ごみについては、従量制により課金し、処理料金を徴収している。

今後は、家庭系ごみについては、津島市、弥富市、大治町においてごみ処理に係る費用負担の適正化、ごみ処理に際しての排出者責任の徹底などによる家庭系ごみの減量化を目指し、費用負担のあり方等について、検討していく。事業系ごみについては、組合においてごみの減量化・資源化を推進するため、ごみ処理に係る適正な処理負担、周辺自治体・組合の動向を踏まえて処理手数料の見直しを検討する。

イ 環境教育、普及啓発

構成市町村では、広報誌やパンフレット等を作成し、環境に対する関心とごみ減量化・資源化の啓発普及に努めている。また、「出前講座」や「3Rに関する各種教室」、「教育機関との連携・協力」により、住民の環境学習の機会を拡大し、住民が積極的に環境学習に取り組めるようにしている。

組合では、小学生を対象とした環境ポスターの募集や施設見学、再生家具の提供や地球温暖化の展示、人力発電機体験等を行うリサイクルフェアの開催などをおして、減量化・資源化の普及啓発に努めている。また、資源ごみを利用した工作や、八穂クリーンセンター内の施設を利用した自然観察などを通じて、親子で環境問題について考えることを目的とした八穂環境学習教室を開催している。

今後も、構成市町村、組合、学校等と連携してこれらの取り組みを継続して行く。

ウ 助成

生ごみ処理容器等の購入に対する補助金交付などの助成を行い、資源化の推進及び生ごみの減量化を図っている市町村もある。

津島市、愛西市、弥富市、蟹江町では、集団回収を実施した子供会、老人クラブ等の団体に対し、助成金を交付している。

今後も、構成市町村は、市民団体等と連携してこれらの取り組みを継続して行く。

エ マイバッグ運動、レジ袋対策

構成市町村は、小売業者等と連携を図りながら、マイバッグ持参運動の普及を図り、レジ袋削減対策に取り組む。

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法は、表 3 のとおりである。当面は現行の分別区分で収集を行っていくこととする。

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、プラスチック類ごみ、有害ごみは、組合の八穂クリーンセンターにおいて処理し、資源ごみ（カン類、ビン類、古紙、古布、ペットボトル、白色トレイ）は、各市町が資源化している。

可燃ごみは、八穂クリーンセンター焼却施設において焼却処理している。

不燃ごみ、粗大ごみは、八穂クリーンセンターリサイクル施設において破袋、選別処理等を行い、金属類は資源化し、可燃残渣は焼却施設で焼却処理し、不燃残渣は埋立処分を行っている。

今後は、現在の処理体制を継続するものとするが、竣工後 10 年経過している八穂クリーンセンターの基幹的設備の改良工事を行い、施設の延命化と併せ温室効果ガスである二酸化炭素排出量の削減を図る。また、焼却残渣は平成 24 年 5 月まで八穂クリーンセンター灰溶融施設で溶融処理していたが、今後はセメント原料として資源化を図る予定である。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

今後とも家庭系ごみの分別区分に準じ、自己搬入または許可業者により搬入されたものを処理する。

なお、事業者に対し、ごみの分別と減量を指導していく。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

今後とも、一般廃棄物処理施設では産業廃棄物の処理を行わない。

エ 今後の処理体制の要点

◇処理体制

現在のごみ処理体制を維持していく。

◇八穂クリーンセンターの長寿命化

稼働後 10 年を経過している施設の長寿命化計画（保全計画、延命化計画）を策定し、延命化計画に基づく基幹的設備の改良工事を実施し、さらに 10 年程度の施設の延命化を図る。

表 3 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後 (1/4)

<津島市>

現 状 (H23年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八徳クリーンセンター	12,097	
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	176	
粗大ごみ (不燃性)			52	
不燃物 (燃やせないごみ)			308	
プラスチック類			委託処理	629
空き缶		八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	216	
空きびん		売却	386	
ペットボトル			83	
紙・段ボール			1,074	
布類			75	
乾電池			八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	19
蛍光管			7	

今 後 (H30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)	
		一次処理	二次処理		
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八徳クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	11,808
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	破碎、選別	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八徳クリーンセンター 破碎資源物(金属) →売却	183
粗大ごみ (不燃性)					57
不燃物 (燃やせないごみ)					179
プラスチック類					直接再生業者引取り
空き缶	選別、圧縮	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	108	
空きびん	直接再生業者引取り	売却	売却	314	
ペットボトル				54	
紙・段ボール				810	
布類	一時保管	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	75	
乾電池				19	
蛍光管				7	

注:「0」は、0.5 t 未満

<愛西市>

現 状 (H23年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八徳クリーンセンター	10,257
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	400
粗大ごみ (不燃性)			159
不燃物 (燃やせないごみ)			633
プラスチック類			1,738
空き缶		売却	174
空きびん			393
ペットボトル			44
紙・段ボール			2,276
布類			178
トレイ			2
乾電池		八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	20
蛍光管		3	

今 後 (H30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)	
		一次処理	二次処理		
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八徳クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	9,308
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	破碎、選別	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八徳クリーンセンター 破碎資源物(金属) →売却	528
粗大ごみ (不燃性)					756
不燃物 (燃やせないごみ)					1,523
プラスチック類					直接再生業者引取り
空き缶	直接再生業者引取り	売却	売却	451	
空きびん				48	
ペットボトル				1,764	
紙・段ボール				140	
布類				3	
トレイ				一時保管	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)
乾電池	4				
蛍光管					

注:「0」は、0.5 t 未満

表 3 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後 (2/4)

<弥富市>

現 状 (H23年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八徳クリーンセンター	6,963
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	253
粗大ごみ (不燃性)			72
不燃物 (燃やせないごみ)			334
プラスチック類			1,147
空き缶		委託処理	99
空きびん		297	
ペットボトル		23	
紙・段ボール		356	
布類			
蛍光管		八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	0

今 後 (H30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)	
		一次処理	二次処理		
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八徳クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	6,876
粗大ごみ (可燃性)	破砕、選別	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八徳クリーンセンター 破砕資源物(金属) →売却	227	
粗大ごみ (不燃性)				70	
不燃物 (燃やせないごみ)				349	
プラスチック類				1,155	
空き缶	リサイクル	直接再生業者引取り	委託処理	56	
空きびん				272	
ペットボトル				19	
紙・段ボール				342	
布類					
蛍光管	一時保管	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	0	

注:「0」は、0.5 t 未満

<あま市>

現 状 (H23年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八徳クリーンセンター	7,382
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	175
粗大ごみ (不燃性)			42
不燃物 (燃やせないごみ)			523
プラスチック類			1,189
空き缶		売却	63
空きびん		232	
ペットボトル		18	
紙・段ボール		502	
布類			
乾電池		八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	11

今 後 (H30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)	
		一次処理	二次処理		
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八徳クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	7,342
粗大ごみ (可燃性)	破砕、選別	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八徳クリーンセンター 破砕資源物(金属) →売却	508	
粗大ごみ (不燃性)				0	
不燃物 (燃やせないごみ)				393	
プラスチック類				1,039	
空き缶	リサイクル	直接再生業者引取り	売却	50	
空きびん				180	
ペットボトル				9	
紙・段ボール				195	
布類					
乾電池	一時保管	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	22	

注:「0」は、0.5 t 未満

表 3 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後 (3/4)

<大治町>

現 状 (H23年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八穂クリーンセンター	4,848
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	78
粗大ごみ (不燃性)			14
不燃物 (燃やせないごみ)			277
プラスチック類			664
空き缶		売却	53
空きびん		八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	154
ペットボトル		売却	40
紙・段ボール			361
布類			60
乾電池			八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)

今 後 (H30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)	
		一次処理	二次処理		
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八穂クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	4,207
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	破碎、選別	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八穂クリーンセンター 破碎資源物(金属) →売却	71
粗大ごみ (不燃性)					16
不燃物 (燃やせないごみ)					240
プラスチック類					577
空き缶		直接再生業者引取り	売却		60
空きびん		選別	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	177
ペットボトル		直接再生業者引取り	売却		46
紙・段ボール					414
布類					69
乾電池					一時保管

注:「0」は、0.5 t 未満

<蟹江町>

現 状 (H23年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八穂クリーンセンター	6,466	
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	149	
粗大ごみ (不燃性)			8	
不燃物 (燃やせないごみ)			460	
プラスチック類			1,041	
空き缶		委託処理		114
空きびん				208
ペットボトル		売却		49
紙・段ボール				1,372
布類				
トレイ		委託処理		2
その他(鉄類等)				241
乾電池			八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	9

今 後 (H30年度)								
分別区分	処理方法	処理施設等		処理見込 (トン)				
		一次処理	二次処理					
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八穂クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	6,176			
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	破碎、選別	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八穂クリーンセンター 破碎資源物(金属) →売却	128			
粗大ごみ (不燃性)					56			
不燃物 (燃やせないごみ)					394			
プラスチック類					983			
空き缶		直接再生業者引取り	委託処理		79			
空きびん					211			
ペットボトル					27			
紙・段ボール					760			
布類					委託処理	16		
トレイ						3		
その他(鉄類等)							—	
乾電池					一時保管	八穂クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	9

注:「0」は、0.5 t 未満

表 3 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後 (4/4)

<飛島村>

現 状 (H23年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	八徳クリーンセンター	906
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	51
粗大ごみ (不燃性)			1
不燃物 (燃やせないごみ)			110
プラスチック類			161
空き缶		売却	10
空きびん		21	
ペットボトル		5	
紙・段ボール		153	
布類		6	
トレイ		0	
剪定枝		委託処理	464
その他(金属等)			12
乾電池		八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	1
蛍光管	1		

今 後 (H30年度)									
分別区分	処理方法		処理施設等		処理見込 (トン)				
			一次処理	二次処理					
可燃物 (燃やせるごみ)	焼却 (熱回収)	発電	八徳クリーンセンター	焼却灰→埋立・セメント原料	735				
粗大ごみ (可燃性)	リサイクル	破碎、選別	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	可燃物・不燃物 →八徳クリーンセンター 破碎資源物(金属) →売却	35				
粗大ごみ (不燃性)					80				
不燃物 (燃やせないごみ)					143				
プラスチック類					92				
空き缶		直接再生業者引取り	売却			15			
空きびん						16			
ペットボトル						4			
紙・段ボール						115			
布類						4			
トレイ						0			
剪定枝						委託処理			429
その他									12
乾電池						一時保管	八徳クリーンセンター (リサイクルプラザ)	委託処理	
蛍光管	1								

注:「0」は、0.5 t 未満

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

前記(2)の分別区分及び処理体制で処理を継続し、施設の延命化及び温室効果ガスの削減のために必要な施設整備を表4のとおり行う。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	エネルギー回収推進施設 (熱回収施設)	八穂クリーンセンターごみ焼却施設 基幹的設備改良事業(交付率 1/3)	330t/日	弥富市鍋田町	H27~H29

※現有施設の概要を別添3に示す。

(整備理由)

事業番号1 既存処理施設の延命化及び温室効果ガスの削減 (CO₂削減率 3%以上)

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり計画支援業務を行う。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
3 1	八穂クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良事業(事業番号1)に係る実施計画等作成事業	見積仕様書作成、実施計画書作成、 見積設計図書比較検討、発注仕様書作成	H26

(5) 廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業

エネルギー回収推進施設の延命化を図るため、(3)の施設整備に先立ち、表6のとおり長寿命化計画の策定を行う。

表6 廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
3 2	八穂クリーンセンターごみ焼却施設長寿命化計画策定事業	廃棄物処理施設長寿命化計画作成	H25

(6) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、組合及び構成市町村が連携して次の施策を実施していく。

ア 再生品の需要拡大

津島市、弥富市では、資源化物の安定需要を確保するため、再生紙や再生プラスチックなどの再生材料を使用した再生品を積極的に使用し、庁舎内での率先利用や市民へ再生品の紹介などを行なう。

イ 廃家電等のリサイクルに関する普及啓発（個別リサイクル法への対応）

構成市町村では、廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるように、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。また、廃パソコンについては、資源有効利用促進法に基づき各メーカーに回収窓口があること、メーカー窓口がない場合にはパソコン3R推進センターを案内し、回収に努める。

ウ フリーマーケット等の開催支援

構成市町村では、再使用を促進し、ごみ減量を推進するため、フリーマーケット等の開催場所を提供するとともに、開催情報を提供していく。

エ 不法投棄対策

不法投棄、違法行為の防止に向けて監視、廃棄物監視員によるパトロールの強化、通報体制の整備、不法投棄防止看板の増設など、指導體制を整備することにより、引続き未然防止に努めていく。

オ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時には一度に多量の廃棄物が発生するため、周辺市町、県、国との連携による広域支援体制を確保する。また、他の地域において災害が発生した場合に速やかな支援が行えるような体制を整える。

大規模な地震の発生後数ヶ月程度は、震災廃棄物の仮置き、一時保管場所の確保が必要となるため、公共用地を活用して災害廃棄物仮置場の確保を図る。

災害廃棄物仮置場は、防災計画に基づき表7に示す最終処分場及び運動場を候補地とする。

表 7 災害廃棄物仮置場 候補地

市町村名	防災計画（名称） 仮置場候補地（名称）	策定年度	全体面積 (㎡)	有効面積 (㎡)
津島市	津島市地域防災計画	平成 23 年度	—	—
	一般廃棄物最終処分場（鹿伏兎町）		3,192	2,182
愛西市	愛西市地域防災計画	平成 23 年度	—	—
	愛西市佐屋総合運動場		26,790	13,745
弥富市	弥富市地域防災計画	平成 23 年度	—	—
	鍋田一般廃棄物最終処分場		5,900	5,900
	鍋田一時仮置場		34,274	34,274
	海屋一般廃棄物最終処分場		4,237	4,237
あま市	あま市地域防災計画	平成 22 年度	—	—
	あま市七宝町安松一般廃棄物最終処分場		5,506	5,506
	あま市東溝口一般廃棄物最終処分場		5,951	5,951
大治町	大治町地域防災計画	平成 23 年度	—	—
	多目的スポーツ広場		4,925	4,000
蟹江町	蟹江町地域防災計画	平成 23 年度	—	—
	佐屋川ソフトボールグラウンド		15,000	15,000
	蟹江町一般廃棄物積替場		6,803	3,400
飛島村	飛島村地域防災計画	平成 15 年度	—	—
	服岡投棄場		15,000	10,000

4. 計画のフォローアップと事後評価

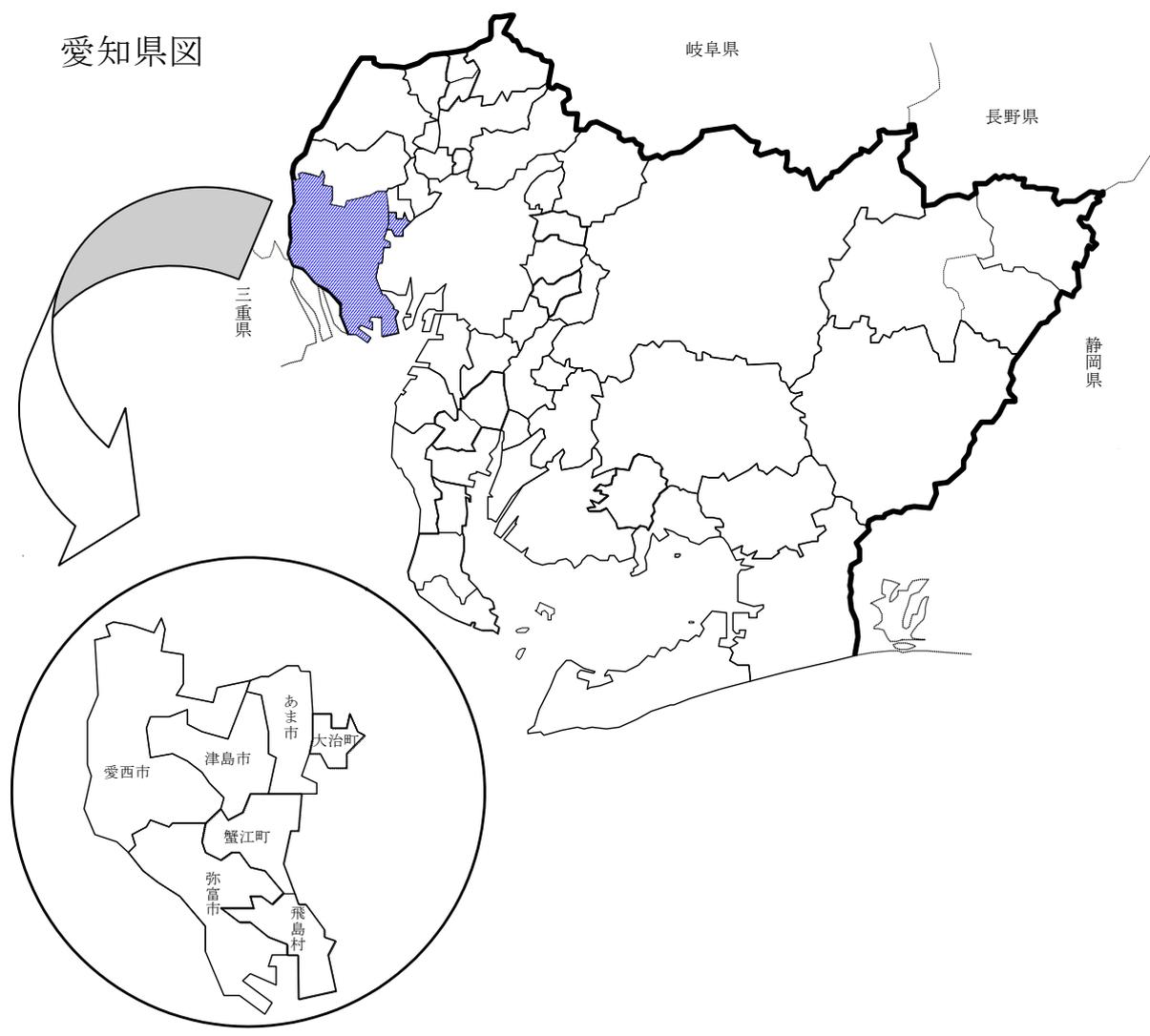
(1) 計画のフォローアップ

組合及び構成市町村では、毎年、計画の推進状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。



※あま市は、七宝地区及び美和地区を対象とする。

図3 計画地域の位置図

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成25年度)

1 地域の概要

(1)地域名	海部地区	(2)地域内人口	296,477 人	(3)地域面積	198.36 km ²
(4)構成市町村等名	津島市、愛西市、弥富市、あま市(七宝地区、美和地区)、大治町、蟹江町、飛島村、海部地区環境事務組合	(5)地域の要件	(人口) 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	①組合を構成する市町村 : 津島市、愛西市、弥富市、あま市(七宝地区、美和地区)、大治町、蟹江町、飛島村 ②設立年月日 : 平成12年 4月 1日設立、許可予定 ③設立されていない場合、今後の見通し:				

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)							目標
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成30年度	
排出量	事業系 総排出量(トン)	16,955	16,040	15,244	14,795	14,307	16,060 (H23比 +12%)		
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	9.6	9.3	8.9	8.3	6.8	6.5		
	家庭系 総排出量(トン)	76,488	74,433	73,653	70,675	69,657	64,372 (H23比 -8%)		
再生利用量	1人当たりの排出量(kg/人)	210	203	204	199	200	195		
	事業系家庭系排出量合計(トン)	93,443	90,473	88,898	85,470	83,964	80,432 (H23比 -4%)		
熱回収量	直接資源化量(トン)	13,513 (14%)	13,222 (15%)	12,589 (14%)	11,147 (13%)	10,154 (12%)	7,853 (10%)		
中間処理による減量化量	総資源化量(トン)	21,356 (23%)	20,986 (23%)	19,400 (22%)	16,545 (19%)	15,447 (18%)	15,458 (19%)		
	熱回収量(年間の発電力量 MWh)	27,663	25,235	26,204	25,016	25,587	24,538		
最終処分量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	67,604 (72%)	65,822 (73%)	64,111 (72%)	63,591 (74%)	63,837 (76%)	63,909 (79%)		
	理立最終処分量(トン)	10,079 (11%)	9,324 (10%)	10,363 (12%)	9,050 (11%)	8,265 (10%)	4,852 (6%)		

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(別添1)

3 現有施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容			備考				
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止、予定年月	更新、廃止理由		型式及び処理方式			
エネルギー回収推進施設	海部地区環境事務組合	連続燃焼式焼却炉(ストーカー方式)	有	330t/日	H14.6	H30.3	延命化、二酸化炭素削減	連続燃焼式焼却炉(ストーカー方式)	H30.3	330t/日	基幹的設備改良	
	津島市	選別・圧縮梱包施設	無	4.9t/日	H18.4	—	—	—	—	—	継続	
	津島市	ストックヤード	無	241㎡	S57.1	—	—	—	—	—	継続	
	津島市	ストックヤード	無	42㎡	H18.4	—	—	—	—	—	継続	
	弥富市	ストックヤード	無	284㎡	H6.4	—	—	—	—	—	継続	
	海部地区環境事務組合	マテリアルサイクル推進施設	破砕・選別施設	有	101t/日	H14.6	—	—	—	—	—	継続
			選別・圧縮梱包施設	有	30t/日							
	最終処分場	津島市	サンドイッチ方式	無	50,800㎡	H8.5	—	—	—	—	—	埋立終了
		津島市	サンドイッチ方式	無	138,149㎡	H9.4	—	—	—	—	—	継続
		愛西市	サンドイッチ方式	無	15,840㎡	H9.10	—	—	—	—	—	埋立終了
		弥富市	セル方式	無	2,556㎡	S56.6	—	—	—	—	—	埋立終了
		弥富市	サンドイッチ方式	有	27,000㎡	H13.4	—	—	—	—	—	継続
あま市		サンドイッチ方式	無	31,657㎡	H6.4	—	—	—	—	—	継続	
あま市		サンドイッチ方式	無	15,540㎡	H10.4	—	—	—	—	—	継続	
あま市		サンドイッチ方式	無	85,336㎡	H9.4	—	—	—	—	—	継続	
飛島村		サンドイッチ方式	無	2,300㎡	H16.4	—	—	—	—	—	継続	
飛島村		セル方式	無	22,621㎡	S55.11	—	—	—	—	—	埋立終了	
海部地区環境事務組合	サンドイッチ方式	無	14,500㎡	H1.4	—	—	—	—	—	埋立終了		

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付した。(別添2)

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成25年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模	事業期間		総事業費(千円)					交付金対象事業費(千円)					備考		
				開始	終了	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
○エネルギー回収等に関する事業						1,986,600	0	0	397,320	993,300	595,980	1,986,600	0	0	397,320	993,300	595,980	
八穂クリーンセンターごみ焼却施設 基幹的設備改良事業 (交付率1/3)	1	組合	330 t/日	H27	H29	1,986,600			397,320	993,300	595,980	1,986,600			397,320	993,300	595,980	
○施設整備に関する計画支援事業						2,664	0	2,664	0	0	0	2,664	0	2,664	0	0	0	
八穂クリーンセンターごみ焼却施設 基幹的設備改良事業(事業番号1)に 係る実施計画等作成事業	31	組合		H26	H26	2,664			2,664			2,664			2,664			事業番号1 に関する 支援事業
○廃棄物処理施設における長寿命化計 画支援に関するもの						6,350	6,350	0	0	0	0	6,350	6,350	6,350	0	0	0	
八穂クリーンセンターごみ焼却施設 長寿命化計画策定事業	32	組合		H25	H25	6,350						6,350			6,350			
合 計						1,995,614	6,350	2,664	397,320	993,300	595,980	1,995,614	6,350	2,664	397,320	993,300	595,980	

様式3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考		
					開始	終了		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度			
発生抑制、再 使用の推進に 関するもの	11	有料化	排出量に応じてごみ処理費用を 負担する仕組みの検討	津島市、弥富市 大治町	25	29		継続実施							
	12	環境教育、普及啓発	広報誌等による普及啓発、出前 講座、環境学習教室の開催によ る環境教育	津島市、愛西市 弥富市、大治町 蟹江町、飛島村 組合	25	29		継続実施							
	13	助成	生ごみ処理容器等の購入助成	愛西市、弥富市 あま市、蟹江町	25	29		継続実施							
			住民団体等が実施する集団回収 への助成	津島市、愛西市 弥富市、蟹江町	25	29		継続実施							
	14	マイバッグ運動・レジ袋対 策	レジ袋の削減に向けたマイバッ ク持参運動の推進	津島市、愛西市 弥富市、あま市 蟹江町、飛島村	25	29		継続実施							
	15	事業系ごみの発生抑制	事業者への減量化指導	愛西市、弥富市 蟹江町、飛島村	25	29		継続実施							
処理施設の整 備に関するもの	1	八徳クリーンセンターごみ 焼却施設基幹的設備改良事 業（交付率1/3）	既存焼却施設の基幹的設備改良 事業	組合	27	29	○						基幹改良	関連事業 31、32	
施設整備に係 る計画支援に 関するもの	31	八徳クリーンセンターごみ 焼却施設基幹的設備改良事 業（事業番号1）に係る実施 計画等作成事業	見積設計図書比較検討・発注仕 様書作成等	組合	26	26	○		仕様書作成等						関連事業 1
施設の長寿命 化計画策定支 援に関するもの	32	八徳クリーンセンターごみ 焼却施設長寿命化計画策定 事業	長寿命化計画策定	組合	25	25	○	計画策定							関連事業 1
その他	41	再生利用品の有効活用	グリーン購入の促進	津島市、弥富市	25	29		継続実施							
	42	廃家電のリサイクルに関す る普及啓発	廃家電・パソコンのリサイクル に関する周知	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村	25	29		継続実施							
	43	フリーマーケット等の開催 支援	フリーマーケット等の開催場所 の提供と情報提供	津島市、愛西市 弥富市、蟹江町 飛島村	25	29		継続実施							
	44	不法投棄対策	不法投棄防止のための監視体制 の整備	津島市、愛西市 弥富市、飛島村	25	29		継続実施							
	45	災害廃棄物の対策	災害時に発生する廃棄物を処理 するための、広域支援体制の確 保	津島市、愛西市 弥富市、あま市 大治町、蟹江町 飛島村、組合	25	29		広域支援体制の確保							

※ 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表5に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致している。

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	海部地区環境事務組合
(2) 施設名称	八穂クリーンセンター ごみ焼却施設
(3) 工期	平成 27 年度～平成 29 年度
(4) 施設規模	処理能力 330 t / 日
(5) 形式及び処理方式	連続燃焼式焼却炉（ストーカ式）
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> （発電効率 13.7 %）・無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> （熱回収率 0.9 %）・無
(7) 地域計画内の役割	既存施設の老朽化に伴い基幹的設備の改良工事を実施し、焼却施設の延命化を図る。また、熱エネルギーの積極的な回収と有効利用を推進するとともに、温室効果ガスの発生抑制に資する。
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料化施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	
(11) 回収ガスの利用計画	

(12) 事業計画額	1,986,600 千円
------------	--------------

計画支援概要

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	海部地区環境事務組合
(2) 事業目的	熱回収施設 施設整備のため
(3) 事業名称	八穂クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良事業（事業番号 1）に係る実施計画等作成事業
(4) 事業期間	平成 26 年度
(5) 事業概要	<ul style="list-style-type: none">・見積仕様書作成・実施計画書作成・見積設計図書比較検討・発注仕様書作成
(6) 事業計画額	2,664 千円

長寿命化計画策定支援概要

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	海部地区環境事務組合
(2) 事業目的	施設の延命化のための計画的な基幹的設備改良に資するため
(3) 事業名称	八穂クリーンセンターごみ焼却施設長寿命化計画策定事業
(4) 事業期間	平成 25 年度
(5) 事業概要	施設の長寿命化、運転管理における温暖化防止の観点から、設備ごとの改良の必要性・有効性に関する計画を策定
(6) 事業計画額	6,350 千円

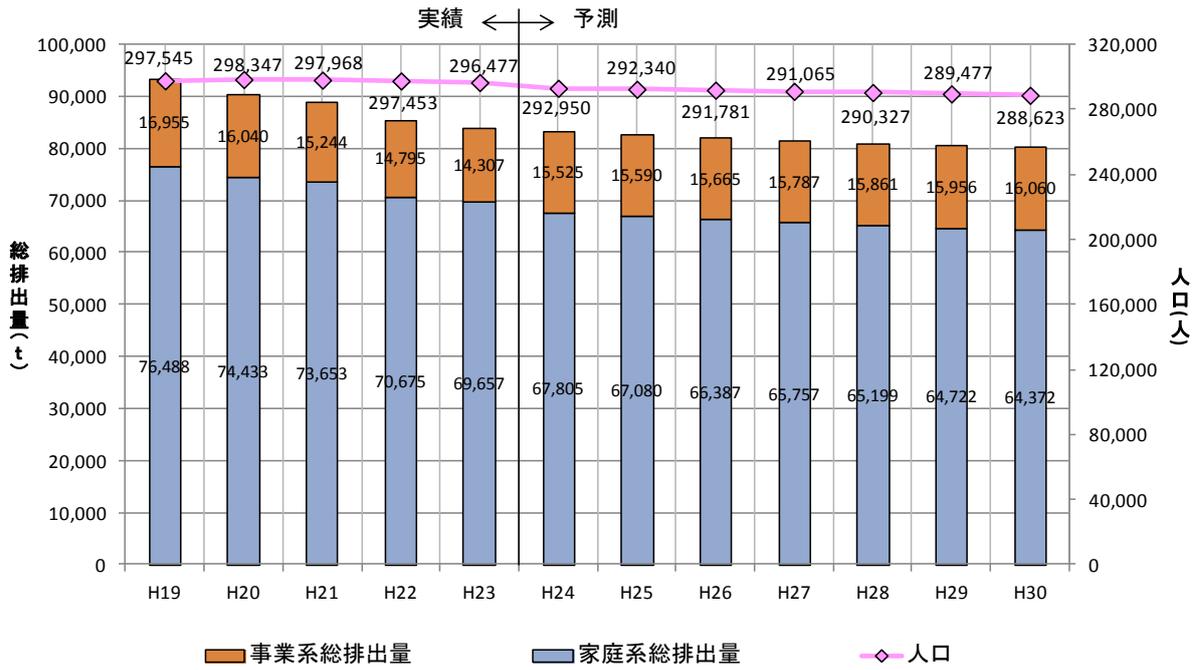


図 4 排出量と人口推移の関係

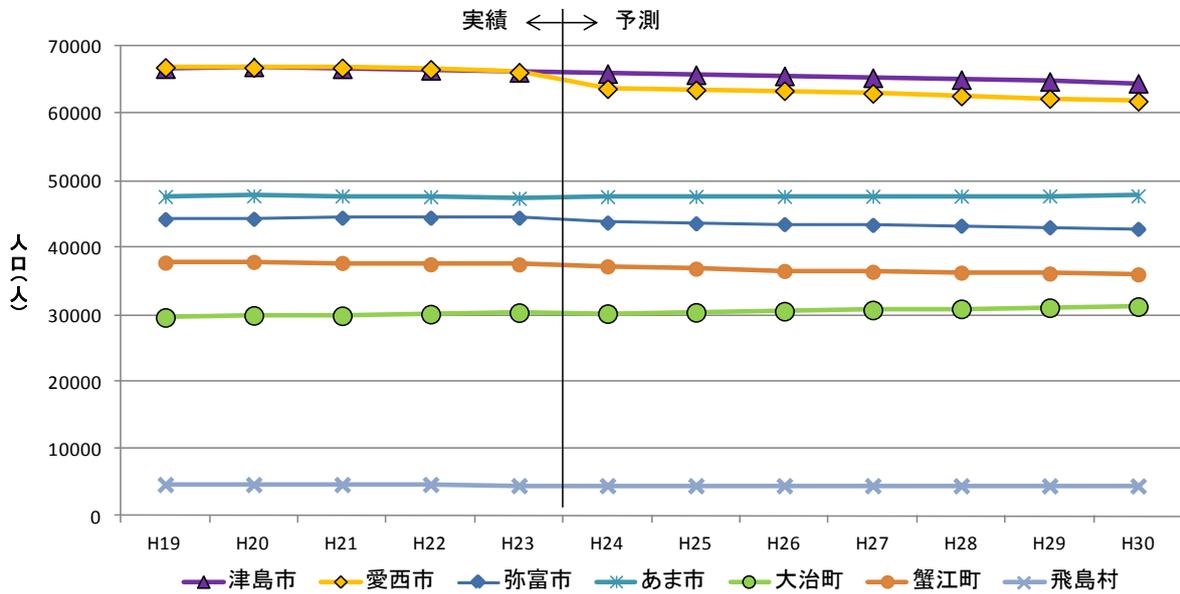


図 5 人口推移（構成市町村別）

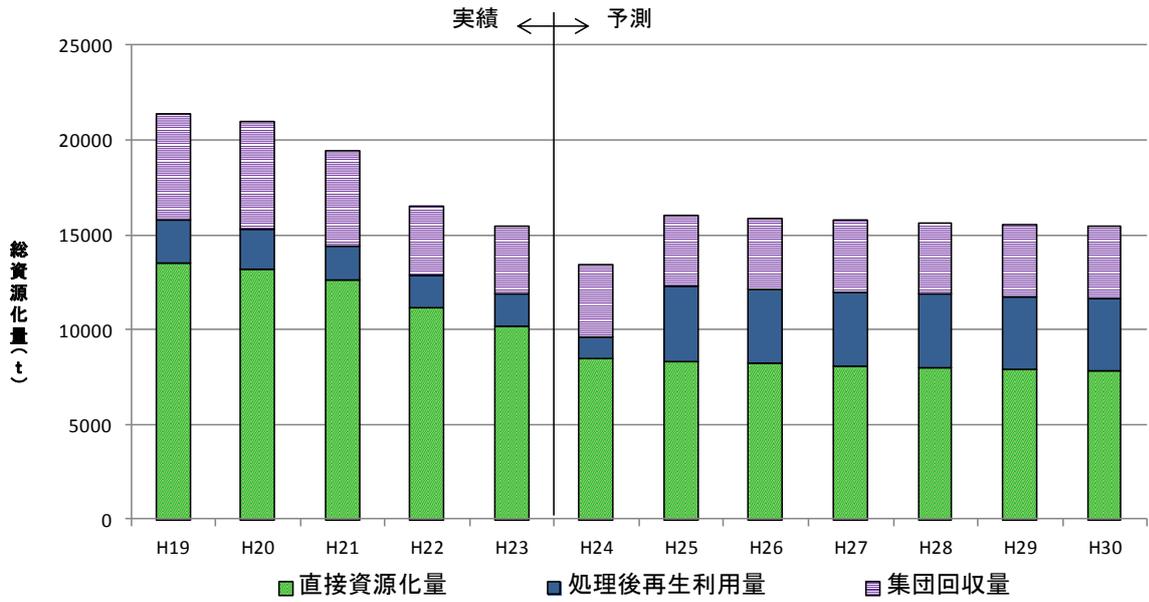


図6 資源化量の推移

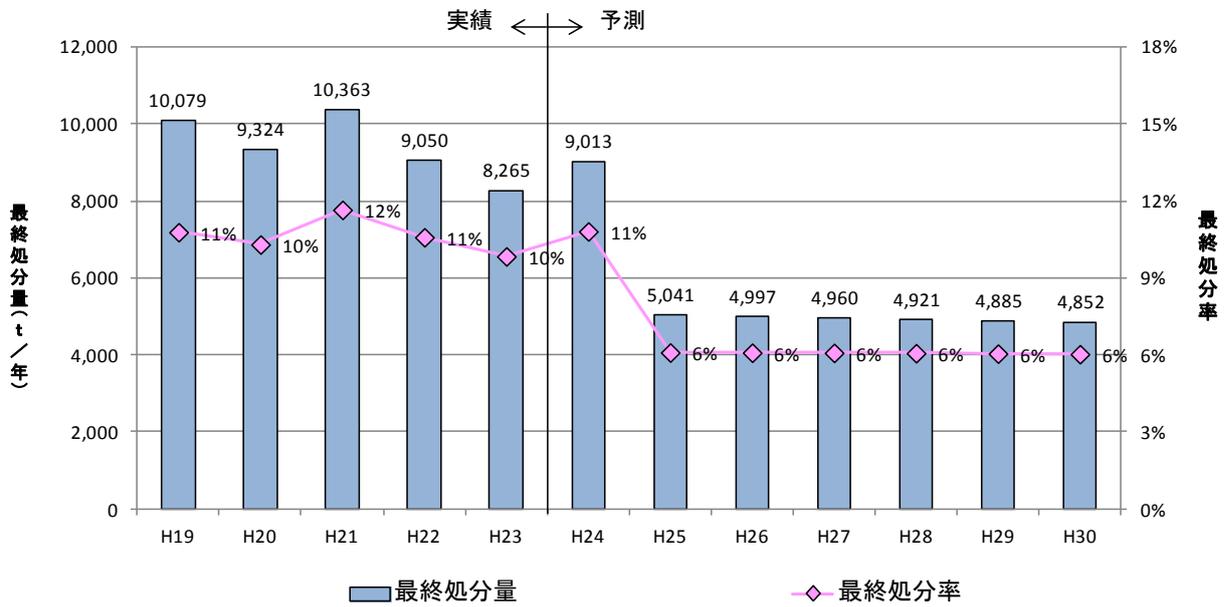


図7 最終処分量と最終処分率の推移

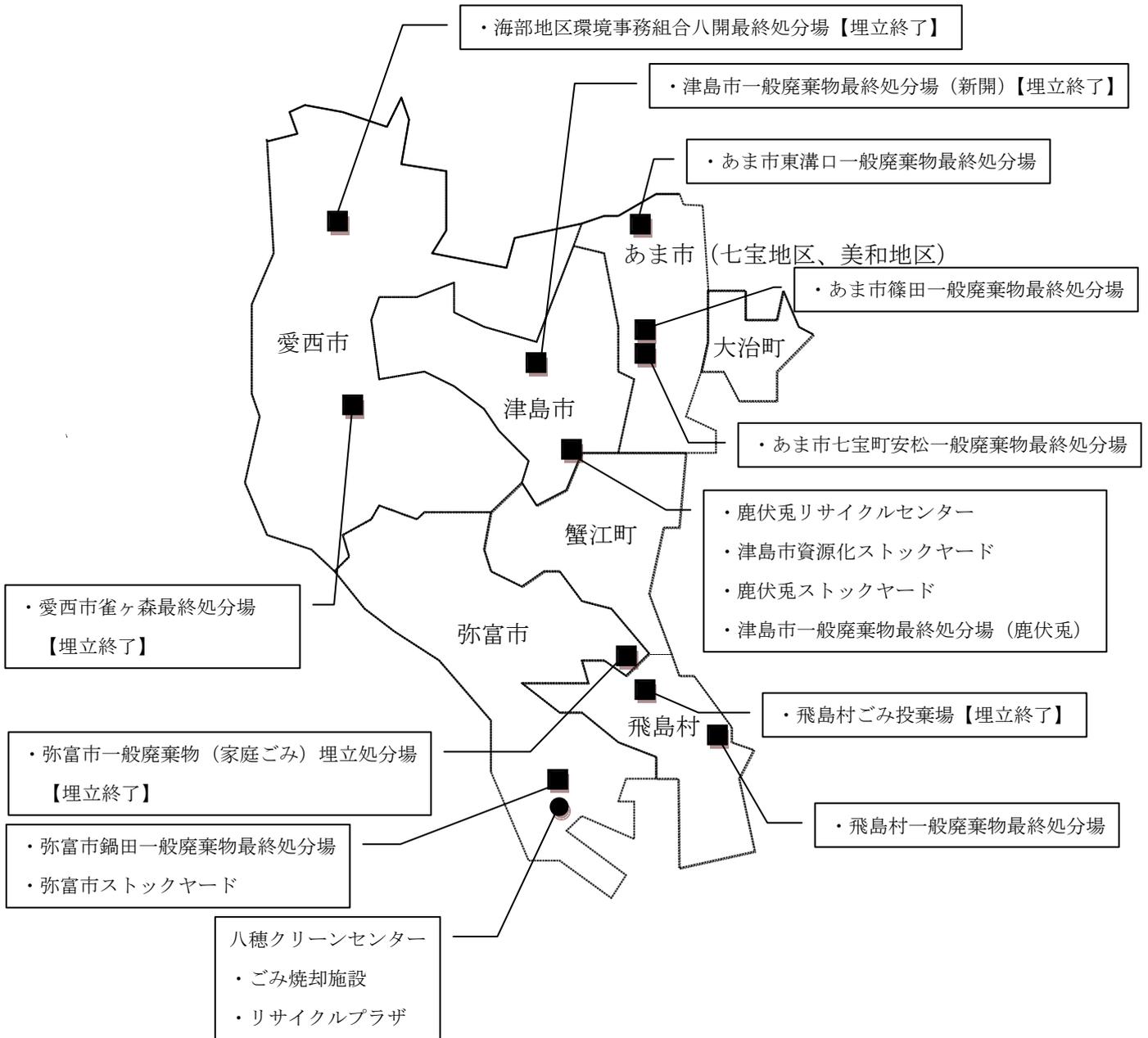


図 8 地域内の現有施設の位置

現有施設の概要

別添 3
(1/7)

項目	内容
施設管理団体	海部地区環境事務組合
施設名称	八穂クリーンセンター ごみ焼却施設
処理対象ごみ	可燃ごみ, 粗大ごみ, ごみ処理残渣, し尿処理残渣
所在地	愛知県弥富市鍋田町八穂 399 番地 3
稼働年月	平成 14 年 6 月
処理能力・炉形式	330t/24h (110t/24h×3 炉) 連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)
灰溶融炉	黒鉛電極式プラズマアーク炉
溶融処理能力	56t/日 (28t×2 炉)
敷地面積	45,887 m ²
建築面積	12,476 m ²
延床面積	31,366 m ²
受入供給方式	ピット・アンド・クレーン方式
ガス冷却方式	ボイラ
排ガス処理方式	乾式有害ガス除去装置、触媒式脱硝設備、バグフィルタ
余熱利用方式	発電, 温水熱交換方式 (場内・場外)
通風方式	平衡通風方式
排水処理方式	無機系排水: 場内循環使用 (無放流) 有機系排水: 原則として無放流、一部放流も可
設計・施工	三菱重工業株式会社

項目	内容
施設管理団体	津島市
施設名称	鹿伏兎リサイクルセンター (鹿伏兎処分場敷地内)
処理対象ごみ	ペットボトル、プラスチック
所在地	愛知県津島市鹿伏兎町字袴腰地内
稼働年月	平成 18 年 4 月
処理能力	4.9 t / 日

別添 3
(2/7)

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	津島市
施 設 名 称	津島市資源化ストックヤード（鹿伏兔処分場敷地内）
処 理 対 象 ご み	ガラス類
所 在 地	愛知県津島市鹿伏兔町字袴腰地内
供 用 開 始	昭和 57 年 1 月
処 理 能 力	241 m ²

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	津島市
施 設 名 称	鹿伏兔ストックヤード（鹿伏兔処分場敷地内）
処 理 対 象 ご み	ペットボトル、プラスチック
所 在 地	愛知県津島市鹿伏兔町字袴腰地内
供 用 開 始	平成 18 年 4 月
処 理 能 力	42 m ²

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	弥富市
施 設 名 称	弥富市ストックヤード
処 理 対 象 ご み	ガラス類
所 在 地	愛知県弥富市鍋田町八穂 58 番地
供 用 開 始	平成 6 年 4 月
処 理 能 力	284 m ²

別添 3
(3/7)

項 目		内 容	
施 設 管 理 団 体		海部地区環境事務組合	
施 設 名 称		八穂クリーンセンター リサイクルプラザ	
処 理 対 象 ご み		不燃ごみ、粗大ごみ、びん、缶	
所 在 地		愛知県弥富市鍋田町八穂 399 番地 3	
稼 動 年 月		平成 14 年 6 月	
処理能力	破 碎 選 別 施 設	不 燃 性 粗 大 ご み	19 t / 日
		可 燃 性 粗 大 ご み プ ラ ス チ ッ ク 類 ご み	27 t / 日
		不 燃 性 粗 大 ご み	55 t / 日
	資 源 化 施 設	ビ ン 類	12.5 t / 日
		缶 類	9.5 t / 日
		ペ ッ ト ボ ト ル	1.5 t / 日
		ト レ イ	1.3 t / 日
		紙 ・ 布 ・ タ ン ボ ール 類	5 t / 日
	合 計		130.8 t / 日

項 目		内 容	
施 設 管 理 団 体		津島市	
施 設 名 称		津島市一般廃棄物最終処分場（新開）	
埋 立 対 象 ご み		焼却残渣（主灰）、不燃ごみ、粗大ごみ	
所 在 地		愛知県津島市新開町三丁目地内他	
埋 立 開 始 年 月		平成 8 年 5 月	
埋 立 方 式		サンドイッチ方式	
埋 立 面 積		11,800 m ²	
埋 立 容 積		50,800 m ³	
備 考		埋立終了	

別添 3
(4/7)

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	津島市
施 設 名 称	津島市一般廃棄物最終処分場（鹿伏兎）
埋 立 対 象 ご み	不燃ごみ、粗大ごみ
所 在 地	愛知県津島市鹿伏兎町字袴腰地内
埋 立 開 始 年 月	平成9年4月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	25,197 m ²
埋 立 容 積	138,149 m ³

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	愛西市
施 設 名 称	愛西市雀ヶ森最終処分場
埋 立 対 象 ご み	不燃ごみ、粗大ごみ
所 在 地	愛知県愛西市雀ヶ森町前並地内
埋 立 開 始 年 月	平成9年10月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	3,403 m ²
埋 立 容 積	15,840 m ³
備 考	埋立終了

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	弥富市
施 設 名 称	弥富市一般廃棄物（家庭ごみ）埋立処分場
埋 立 対 象 ご み	不燃ごみ
所 在 地	愛知県弥富市海屋二丁目 81 番地
埋 立 開 始 年 月	昭和 56 年 6 月
埋 立 方 式	セル方式
埋 立 面 積	4,237 m ²
埋 立 容 積	2,556 m ³
備 考	埋立終了

別添 3
(5/7)

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	弥富市
施 設 名 称	弥富市鍋田一般廃棄物最終処分場
埋 立 対 象 ご み	不燃ごみ
所 在 地	愛知県弥富市鍋田町八穂 58 番地
埋 立 開 始 年 月	平成 13 年 4 月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	5,900 m ²
埋 立 容 積	27,000 m ³

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	あま市
施 設 名 称	あま市七宝町安松一般廃棄物最終処分場
埋 立 対 象 ご み	埋立ごみ
所 在 地	愛知県あま市七宝町安松五丁目 1～28 番地
埋 立 開 始 年 月	平成 6 年 4 月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	5,506 m ²
埋 立 容 積	31,657 m ³

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	あま市
施 設 名 称	あま市東溝口一般廃棄物最終処分場
埋 立 対 象 ご み	熔融スラグ
所 在 地	愛知県あま市東溝口三丁目 102・112・113
埋 立 開 始 年 月	平成 10 年 4 月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	5,951 m ²
埋 立 容 積	15,540 m ³

別添 3
(6/7)

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	あま市
施 設 名 称	あま市篠田一般廃棄物最終処分場
埋 立 対 象 ご み	不燃ごみ、プラスチック類
所 在 地	愛知県あま市篠田森南 19
埋 立 開 始 年 月	平成 9 年 4 月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	15,658 m ²
埋 立 容 積	85,336 m ³

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	飛島村
施 設 名 称	飛島村一般廃棄物最終処分場
埋 立 対 象 ご み	焼却残渣（主灰）、熔融スラグ
所 在 地	愛知県海部郡飛島村新政成亥之切 961 番地 1
埋 立 開 始 年 月	平成 16 年 4 月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	5,000 m ²
埋 立 容 積	2,300 m ³

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	飛島村
施 設 名 称	飛島村ごみ投棄場
埋 立 対 象 ご み	粗大ごみ
所 在 地	愛知県海部郡飛島村服岡八丁目 25-1
埋 立 開 始 年 月	昭和 55 年 11 月
埋 立 方 式	セル方式
埋 立 面 積	6,516 m ²
埋 立 容 積	22,621 m ³
備 考	埋立終了

別添 3
(7/7)

項 目	内 容
施 設 管 理 団 体	海部地区環境事務組合
施 設 名 称	海部地区環境事務組合八開最終処分場
埋 立 対 象 ご み	焼却残渣（主灰、飛灰）
所 在 地	愛知県愛西市二子町上丸島地内
埋 立 開 始 年 月	平成1年4月
埋 立 方 式	サンドイッチ方式
埋 立 面 積	5,671 m ²
埋 立 容 積	14,500 m ³
備 考	埋立終了